

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第 326 号



東海大学付属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2013年11月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

中等部・高校合同体育祭開催!!



準備体操



ローハイド



部活動対抗リレー

第12回 中高合同体育祭開催

高校最後の体育祭

体育祭実行委員長 菊井 一樹
3年2組 横浜市立潮田中学校出身

10月4日(金)にさいたま総合グラウンドにて、第12回中等部・高校合同体育祭を実施しました。曇り空の中、大きな怪我もなく中学生・高校生問わずみんなで協力し競技を行い、一生懸命自分たちの色を応援している姿を見ることができ、とても感動しました。

また色別対抗リレーでは、さすが高校生と思えるほどの足の速さで、今回の体育祭の中でも一番盛り上がっていました。そして中等部のダンスでは、普段の体育の授業で一生懸命練習をしていましたが、その成果をしっかりと出すことができました。高校生もその素晴らしい演技を見て、大きな声援を送っていました。来年は、さらに中学生と高校生と一緒に協力してより良い体育祭にしてほしいと思います。



選手宣誓

玉入れ



準備体操



ムカデ競走



障害物競走

台風の目



中等部ダンス





部活動対抗リレー



大玉ころがし

肩組競走



華のステージ



ローハイド



大玉おくり



中等部リレー



色別対抗リレー



表彰式

結果
色別対抗

優勝 オレンジ組
準優勝 赤組
第3位 白組

色	赤	オレンジ	黄	緑	青	白
得点	810	840	740	730	710	760

中等部1学年だより

9月20日に葛西臨海公園にて行われた写生大会。期末試験終了の翌日ということもあり(?)、生徒たちは海と空が広く見渡せる開放的な場所で、さかんに写生に励んでいました。今回はそんな写生大会で感じた生徒の思いを紹介します。

初めての写生大会

中村 結衣

1年A組 世田谷区立千歳小学校出身

葛西臨海公園でこの学校に入学してから初めての写生大会がありました。この公園はとても広くてきれいで、気持ち良い場所でした。大きな観覧車と海があってながめも良い感じだったので一通り描き終わると少し時間があつたので休憩しました。日陰で涼しかったので気持ち良かったです。

今考えてみたら、もっと良い絵が描けたのではと思います。来年の写生大会はもっと描くことに集中しなければいけないと反省しています。

今年の写生大会もなんだかんだで楽しかったけれど、来年の写生大会はもっと楽しいものにできたらいいと思います。そして、今回描いた絵よりもっといいものができたらいいと思います。

写生大会

高橋 幸輝

1年B組 川崎市立橋小学校出身

期末試験が終わって皆で気温が高くて太陽がギラギラする真夏日に、葛西臨海公園で写生大会がありました。僕は絵を描くのが好きで、写生大会では学年で1位を取れる自信がありました。でも僕は絵を描くのにみんなよりも時間がかかるので心配でした。

結果は予想通り絵を描くのに時間がとてもかかってしまい、終了30分前で絵を描き直してしまいました。そのため、終了前に書いた絵はうまく完成できませんでした。他の上手い人たちに負けてしまって今年は優勝を取り逃してしまいました。僕は苦しかったので来年は優勝しようと思い、時間短縮を今、頑張っってなんとかしていこうと思います。



涼しい木陰で、じっくり絵を描いています



写生中もカメラへの目配せは忘れません



写生大会開始前の安らかなひととき



絵も完成し、海辺で一休み

中等部2学年だより

写生大会

前期期末試験が9月17日(火)から19日(木)までの3日間行われ、その翌20日(金)に中等部恒例行事である「写生大会」が実施されました。一昨年度は潮風公園、昨年度は芝公園でしたが、今回は葛西臨海公園に舞台を移しての実施となりました。汗ばむほどの晴天に恵まれ、教室での授業の時とは違った集中力で芸術活動に打ち込む生徒たちの姿が印象的でした。

この公園には葛西臨海水族館が併設されています。また、公園内にはバーベキューエリアがあり、家族連れがにぎやかに過ごしていました。そのためか、解散後、駅の階段を上る生徒たちは実に名残惜しそうでした。休日のお出かけには最適の公園ですので、一度ご家族で足を運ばれてはいかがでしょうか。



うーん、意外と難しいぞ



並んでスケッチ中

えんぴつだけの絵

川瀬 真采

2年A組 横浜市立綱島東小学校出身

今回の写生大会は、私にとって2回目でした。私は海を中心に、遠くに見える島や木、テントなどを描きました。絵はあまり上手ではないのですが、ゆっくりと時間をかけて描いてみたので昨年よりは上手に描けたらと思いました。「完成!」と思って先生に見せに行くと、「空と海を薄く色づけしなさい」と言われました。言われた通りに色を塗ってみると、前よりもさらに良くなった気がしました。手をかければかけるほど、より良い作品ができるということがわかりました。太陽が眩しく、とても暑くて大変でしたが、それ以上に描き終えたときの達成感が大きくてうれしくなりました。昨年よりも、えんぴつだけで絵を描くことの楽しさと難しさを深く学ぶことができました。来年の写生大会でも、今年以上に何かに気づくことができるようにしたいと思いました。

絵というもの

鶴岡 亮久

2年B組 足立区立東洲江小学校出身

自然の中、川が流れ、木のおいが薫る葛西臨海公園で写生大会が行われました。

白い橋を描く際、とても苦勞をしました。どうすれば立体のように見えるのか、どのようにすれば明暗を表すことができるのか、ということを考えながらスケッチをしました。また、橋の長さを間違え、何回も何回も繰り返し描きました。苦勞はしましたが、これらの作業は絵を描くうえでとても大切なことだと思いました。

今回の写生大会を通していろいろなことを学びました。それは失敗を繰り返し、挑戦をすること。そして、最も大事だと思ふことがあります。それは、自分の思うイメージを表現し、それを紙の上に表すことです。

私は将来、絵を描く職に就きたいと考えています。人物画は苦手ではありませんが、風景画は得意ではありません。今後、人物画を描くような機会があれば、自信を持ち描くことに努めたいと思いますし、苦手な風景画にも挑戦し、紙の上に自分の中のイメージを頑張って表現していきたいと思っています。



汐風の広場に集合

中等部3学年だより

中等部生として、最後の写生大会は、生徒にとってはいろいろと考える機会になったようです。今回は2人の生徒に、写生大会の思いをそれぞれ書いてもらいました。

写生大会を終えて

富永 悠記子

3年A組 品川区立立会小学校出身

今年で3回目を終えた写生大会。私がこの行事を重ねていくごとに感じることは、「物を見る」という1つの動作だけでも、人それぞれによって見え方・捉え方が少しずつ違うということです。今回の例で見てみると、私は友達2人と私を含め3人でテーマである“観覧車”を横に並んで描いていました。ところが驚いたのは3人の絵が全く違うことです。隣同士で描いていたので見えていた景色もあまり変わらないと思っていたのですが…。このように、人は同じ景色・物を見ていてもその見ている物への考え方・捉え方は必ず違うのだと思いました。また、これらのことを生かす場面はたくさんあります。例えば、建学祭です。いろいろな案を出し合っていく中で、1人ひとりにしかない発想・アイデアをそれぞれが発言し合うのです。そのようにしていくことで、より良い作品ができ、作り上げることができるのだと思いました。

写生大会を振り返って

長尾 和紀

3年B組 横浜市立旭小学校出身

今回の写生大会を振り返ってみると、前回の写生大会よりも上手に描けたと思います。前回の芝公園では、東京タワーを描こうとしましたがなかなか上手く描けずに、四苦八苦しながら描いた覚えがあります。しかし、今年は建物がとてもシンプルだったので、とても描きやすいと思いました。今回は鉛筆での写生だったので、木と建物の色をわかりやすくしました。建物は全体に白で、青線のラインが入っているのが特徴でした。そのため、白は薄鉛筆で塗り、青線の部分は白よりも少し黒く塗ることによって、色をわかりやすい感じにしました。

今回は終わった後、とても疲労感を覚えました。その分だけよく描けたと思ったので、2年や1年のときの絵よりだんと上手くなったと思います。中等部最後で写生大会ができて、とてもよかったです。



高校1学年だより

高校1年生は前期終了時に前期の反省を十分行って、気持ちを新たにして後期を迎えるために「前期の反省と後期に向けての抱負」という内容で全員が作文を書きました。その一部を紹介します。

両立

樋口 拓真

1年1組 大田区立南六郷中学校出身

入学前は、部活動と勉強の両立は簡単だと考えていました。もちろん、部活動は毎日全力でやりきり、勉強も普通に努力してテストもそれなりに頑張る。これが入学当初の私の思いでした。

4月。まだ少し寒さが残る中、本校の制服を着て校門をくぐりました。それほど緊張はしませんでした。これからの学校生活や野球部での3年間を思うと胸が高鳴りました。そんな中で迎えた部活動の日々。毎日が希望や期待に満ちていた反面、その練習の厳しさに、寝るだけでは体力が回復しない日が続きました。野球の練習と目標に向かって一生懸命頑張った時に始まった授業。それは入学前の理想とはかけ離れ過ぎていました。毎日、5時間目になると始まる睡魔との闘い。なんとか授業にくらいついても、ついウトウト。入学前の甘い考えは通用しませんでした。

慣れとはすごいもので、入学してから1月、2月経つと、日々の生活や野球の練習にも身体が慣れ、睡魔と闘う授業態度も改善されてきました。やっとな部活動と勉強の両立ができてきました。甘い考えをもっていた入学当初に戻れるならば、あの頃の自分に逢えるならば、あの頃の自分の意識の低さを反省して、心構えの大切さだけでも自分自身に伝えてあげたい。そうすれば今よりはもっと良いスタートがきれたと思います。過ぎたことを言っても何も変わりませんが、これからの毎日を全力で頑張ることで、後悔しないような学校生活を送りたいです。

反省と今後の目標

中村 美優

1年3組 横浜市立港南中学校出身

私の前期の反省は、普段の授業で集中力を欠いたり試験勉強に真剣に取り組むことができなかったことです。

宿題や勉強に取り組んでいて、就寝の時間が遅くなったり、部活動からの帰りが遅くなったりして睡眠を十分取ることができませんでした。試験前に勉強をしなければならぬことはわかっているのに、疲れていたり、やる気が出なかったりして時間は十分あるのに、試験勉強ができませんでした。たくさんある時間の使い方がうまくできていませんでした。夏休みも今までの総復習をする時間はあったのに、宿題を終わらせるだけになってしまいました。だから中間テストも期末テストも良い点数はとれませんでした。学習での時間の使い方、テストでの時間配分がうまくできなかったことが反省点です。

後期は今まで以上に勉強と部活動を両立させなければなりません。そのためにも、勉強ではその日に学習したことはその日のうちに復習して理解したいと思います。また、部活動はだいぶ慣れてきているので、よりよくなるように技術を磨いていきます。そして部活動だけ、勉強だけにかたよらないように、文武両道を実践していきたいです。

もっとできる

阿部 甲洋

1年6組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

前期は、特別良いところも悪いところもなく、それなりに平凡な毎日を過ごしていました。スポーツ大会や剛健旅行などで楽しい思い出や、また、初めて経験する部活動の厳しい合宿もありました。しかしこれらのことも、もっと良くできたはず。クラスの仲間とも、もっと親しくなれるはず。もっと部活動に真剣に取り組む自分の腕を上げることもできたはず。もっと懸命に勉強してテストの点数を上げることもできたはず。このように考えてみると、まだまだ自分の努力が足りないことを実感しました。

いままで、私は自分なりにできることをしてきました。しかし「自分なり」ではだめなのです。まだ足りないのです。人一倍ではなく、人の二倍、三倍も努力してこそ、その上を目指せるのだと思います。満足したいわけではありませんが、後悔だけはしたくありません。後期は前期と平行線になるような毎日を送りたくありません。1日1日が充実した日々になるように、周囲の友だちを大切にし、友だちの輪を広げて友情を深めたいです。また、弓道の腕を上げるために毎日、真剣に練習を積み重ね、集中力を高めたいと思います。向上心を持って「もっとできる」自分になりたいです。

前期を踏まえて、後期で注意したいこと

三原 崇徳

1年7組 川崎市立西中原中学校出身

前期の反省は、中間テストから期末テストにかけて授業内容が難しくなってきたのに、中間試験と同じくらいの勉強しかできませんでした。そのため、試験前に覚えたはずの内容を思い出すのに時間がかかったり、苦手教科をなかなか克服できなかったりしてしまいました。中間で結果の良かった教科が期末では、つまづいてしまったので、後期は前期より早めに試験対策を始めて、試験の難易度が高くなっても対応できるようにしたいです。いくつかの教科で中間から期末にかけて点数の変動が大きかったものもあったので、後期は復習を十分に行つて点数を上げるように努力したいです。

後期は、前期に引き続いて授業に積極的に参加して、難しい学習内容も理解できるように頑張ります。理解できない難しいものは先生への質問もそのたびに行つて授業についていけるようにします。また、体調管理を十分に行い、欠席をしないようにしたいです。さらに、後期は学校行事も多いので、どの行事にも準備から後片付けまで、積極的に参加して楽しい行事になるようにしたいです。学校の規則を守つたり、もっと友だちと会話を増やして、お互いが助け合えるような有意義な学校生活を送りたいです。

高校2学年だより

研修旅行 - Unforgettable Journey ③

今号で研修旅行報告も最終回になります。今回はハワイ・サイエンスコースとオーストラリアコースの代表生徒の感想を紹介させていただきます。



◆オーストラリアコース

吉村 彩

2年8組 品川区立戸越台中学校出身

今の時期(6月)のオーストラリアは、日本とは季節が真逆でとても寒く、気候が安定せずに雨が降ったり止んだりして大変でした。でも、その分たくさんキレイな虹を見ることができました。また、高輪台高校の生徒として初めてのオペラハウス内の見学もすることができ、とても貴重な経験をしました。ホームステイ先では、いつもとは違う環境で3日間生活をして、日本とは少し違った味に驚かされたり、言いたいことや伝えたいことが上手に伝わらなかったりもしましたが、フレンドリーな家族に囲まれて、とても楽しく充実したホームステイ生活を送ることができました。



ハワイ・サイエンスコース

◆ハワイ・サイエンスコース

浅山 和輝

2年9組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私たちは、ハワイ島・オアフ島でさまざまな体験学習を行いました。まずハワイ島に2006年イミロア天文学センターとしてオープンしたミュージアム(4次元デジタル宇宙シアター)で、3D映像を使った宇宙体験をすることができました。まるでCGとは思えないほど惑星が目の前を通り過ぎ、触ることができるのではと手を伸ばしてしまうほどでした。次に私たちが向かったのは、かつて大津波によって大損害を被ったヒロの町にある太平洋津波博物館です。ここでは津波に関する多くの資料が展示されていて、津波の生存者のインタビューを放映するビデオを見ました。生存者の方々の話す当時の様子は、とても現実とは思えないような恐ろしいものでした。この旅行で最も印象に残ったのは、キラウエア火山からバスで訪ねたマウナケア山の2800M地点にあるオニヅカ・ビジターセンターでの天体観測です。日本では見ることが難しい南十字星や、天体望遠鏡で見た土星はとても輝いていて感動しました。



オーストラリアコース

高校3学年だより

10月4日に第12回中等部・高校合同体育祭が行われました。曇り空で少し肌寒い1日でしたが、それに勝る生徒たちの熱気で、素晴らしい体育祭となりました。3年生にとっては高校生活最後の体育祭でした。見事優勝したオレンジ組の3年3組、3年7組の生徒に感想を寄せてもらいました。

優勝

金子 真彦

3年3組 川口市立戸塚西中学校出身

私たち3年生にとっての高校生活最後の体育祭。天候にも恵まれ無事に体育祭を成功させることができました。たくさんの人たちに感謝したいと思います。ありがとうございました。

今回の体育祭、3組全員の目標は「優勝」でした。すべての種目に対して競技者、応援する仲間たちが全力で頑張っていたと思います。その結果が報われ、3組が所属するオレンジ組は総合優勝することができました。優勝カップを受け取り、3組の仲間たちの表情を見たら、全員の顔に笑顔があふれ、喜んでいました。残り少ない高校生活最後の行事がまだ続きます。3組のこの団結力を存分に発揮して、最高の思い出をこの仲間たちと残していきたいです。

最後の体育祭

大谷 優斗

3年7組 森村学園中等部出身

高校生活最後の体育祭が先日行われました。今年は去年までとは違って、最高学年として体育祭に参加しました。最高学年はすべての競技でアンカーを務めるため、今まで以上にプレッシャーや責任感を感じていました。1、2年生のときは体育祭に参加しているだけでしたが、今年は体育祭を作ることができたと思います。体育祭が終わってしまったことで、私たち3年生にはあと2、3個の行事しか残っていません。体育祭に参加しているときにはあまり感じませんでしたが、いざ体育祭を終えてみると、急に実感がわいてきました。体育祭では優勝という結果になりましたが、残りの行事でも良い結果が残せるように、1日1日を大切に過ごしていきたいです。



ローハイド



色別対抗リレー



3年3組



3年7組

2013年度学校運営方針

今月も先月に続き、教育の重点目標に対する具体的な取り組みについて、細かくご紹介していきます。

アクティブボード等教育機器の活用

アクティブボードという電子黒板が全教室に設置されています。この教育機器を有効に使い、常に新しい情報を取り入れた授業を行っています。映像や動画などを巧みに使って興味を持たせ、高輪台流の教育を展開しています。教育改革・授業改革を目指し、個々の生徒の理解力や定着率の向上位を目指しています。

「生徒による授業評価アンケート」を受けての授業改善

本校では、年4回の「生徒による授業評価アンケート」を実施しています。生徒の声を教員にフィードバックし、授業改革のための資料としています。各教員が自己診断を行うための生徒による評価で、客観的に授業を見直す良い機会となっています。生徒の興味と理解力を深めるために、常に授業の質を高める努力をしています。

学校評価による教育活動の確認と改善

本校の学校評価は、建学の精神のもと、「生徒がより良い教育活動を享受し、教育水準の向上を図ること」、「家庭や地域社会に公表することで、教育改革の自助努力を促進すること」、「教育を受けた生徒の成長および成長期間の問題点や改善点を確認すること」などを目的に実施しています。学校運営、学習指導、クラス指導、生活指導、進路指導、特別活動などの分野の重要目標、成果と課題、改善策を分析しています。

2012年度の学校評価については、本校のホームページにも掲載しております。

東海カルチャーセミナー

東海カルチャーセミナーに参加して

後援会学年部部长 梅林 祥子

毎年夏休み期間に開催されておりました東海カルチャーセミナーですが、今年度は第2回保護者会と同日の9月28日(土)午前中に開催され、参加させていただきました。

第1部は本校吹奏楽部の演奏でした。吹奏楽部OGの母としては感慨深く懐かしいメロディーの数々でした。12月25日・26日の定期演奏会がとて楽しみです。

第2部は東海大学海洋学部教授、田中博通先生より「子供達に未来を託す為に、今、エネルギーについて考えておきたいこと～波の力や木材を利用して発電する」というテーマでご講演いただきました。EU諸国では、既に大きな発電プラントが運用され環境重視であること、日本の波力発電の有利



講師の田中博通先生

性、山・川・海の一連の自然研究が東海大学の学部へ関連してくることを再認識できました。「哲学が重要で、技術は後からでも追いつく」、このことばが、「建学の精神」とつながることが印象的でした。質疑応答では、専門的な内容から各家庭で取り組める質問に至るまで具体的に答えていただきました。ぜひ、次回の東海カルチャーセミナーには、より多くの方にご参加いただきたいと思います。

TOKAI キャンパスメッセージ

生涯スポーツ学科の紹介

東海大学体育学部生涯スポーツ学科 吉岡 尚美

「生涯スポーツ」とは、「いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも」をスローガンに掲げる「すべての人が生涯を通じてかわり、楽しみながら継続するスポーツ」です。子どもの体力低下や成人の生活習慣病の増加、高齢者の介護問題などが指摘される今日の社会において、人々の楽しさ体験と健康を支える「生涯スポーツ」のための環境を充実させてゆくことが不可欠となっています。

生涯スポーツ学科では、スポーツを楽しむこと、そして健康づくりの重要性を伝えることができる指導者を育成することを目指しています。1年次には、学びの基礎となる「生涯スポーツ論」の講義のほ

か、「生涯スポーツ基礎ゼミナール1」、「生涯スポーツ基礎ゼミナール2」、「冬季野外活動理論演習」などの演習や実習を通してコミュニケーション力を高めま

す。2年次～3年次にかけては専門的な講義と演習授業を通して、知識と実践を融合させ、実践力と応用力を高めま

す。4年次は、研究ゼミナール活動の集大成である卒業研究に取り組み、完成させることを通して、問題発見及び解決能力を養います。

学内外での運動指導や調査、ボランティアの機会も豊富にあり、「現場」を体験しながら生涯スポーツの指導者となる力を身につけることができます。また、学

生自身の意欲と取り組みによって、保健体育教員免許状はもちろん、健康運動指導士や衛生管理者、社会教育主事などの資格取得にも有利であり、卒業生は学校や民間スポーツクラブ、幼児体育施設、福祉関連施設、一般企業、大学院などで活躍しています。

現在、39名の高輪台高校出身者が本学科で学んでいます。スポーツの楽しみ方は、競技として、余暇活動として、健康のためになどさまざまあります。「する」だけでなく、「観る」、「支える」、「研究する」などの楽しさもあります。生涯スポーツについて学び、日本のスポーツ文化を支える人材になってみましょう。

生涯スポーツ学科の魅力とは

東海大学体育学部生涯スポーツ学科2年(高輪台高校2012年3月卒業) 高橋 紗耶子

私は、女子バレーボール部のマネージャーとして高校3年間を過ごしてきました。進路については、教員になりスポーツが苦手な人も含めて、多くの人に身体を動かす楽しさを伝えたいという思いから、体育学部生涯スポーツ学科に進学しました。

体育学部では、設備の整った環境で、数々の実績を残されている先生方から直接指導していただくことができます。その中でも、生涯スポーツ学科で実施されるスキーやカヌー等を行う冬季・夏季野外活動理論演習はとても魅力的でした。教室で行う授業とは異なり、実際に学んだことを自然の中で行い、生かしていく「体験型」の授業は貴重な経験とな

りました。これらの授業には、補助学生としてサポートする側に立つ機会もあるので、挑戦してみたいと思っています。

大学では、以前から行っていた少林寺拳法を部活動で続けています。高校の部活動よりも、幅広い年代のOB・OGの方々とも関わる機会は多く、他大学との交流も多くあります。さまざまな方から刺激を受けながら、県大会や学生大会で上位に入賞することを目標にしながら活動しています。

その他にも、手話講習会やノートテイク等の活動にも参加しています。ノートテイクとは、聴覚に障害がある学生に対する修学支援の一つで、先生が講義される情報を、パソコンや筆談で

目からの情報に代えて伝える活動です。私は、大学に入る時には、こういった活動があることを知りませんでした。人を支援する活動に参加していく中で、経験できていないことがまだまだたくさんあるのだと実感しました。先生によっても行われている活動が違い、幼児に関わる活動もあれば、実技を実際に子どもに教える活動等があるので、これからの積極的に参加していこうと考えています。

さまざまな活動に参加することは大変ですが、自分で活動する分だけ充実度が変わるのが大学生活なのだと実感しています。より多くの経験を積むために、頑張っていきたいと思っています。



少林寺拳法部での活躍の様子



野外実習(キャンプ)の様子

お知らせ

ベストティーチャー・タイプA候補決まる

5月16日、9月12日に「生徒による授業評価アンケート」を行いました。その結果、今年度のベストティーチャー・タイプAに9名の先生方が候補として決まりました。保護者の皆様には、11月20、21日の「一斉公開授業」をはじめ、11月28日までにご都合の良い日に来校の上、9名の先生方の授業をご覧ください、保護者による「授業評価アンケート」にご協力をお願いいたします。

【2013年度ベストティーチャー・タイプA候補一覧】(教科順)

	教員名	教科
中等部	日塔 瑞乃	国語科
	東出 葉月	国語科
	高橋 光太	数学科
高等学校	野口 大輔	国語科
	田中由希子	地歴・公民科
	小松原洋行	英語科
	島村 誠	保健体育科
	笹井 愛佳	保健体育科
	小泉東一郎	芸術科(美術)

※付記

以下の過去3年間にベストティーチャー・タイプAに選ばれた受賞者は、規定により、候補から除外されています。

2010年度：數馬大介・山口恵美子

2011年度：野々村淳・佐藤泰士

2012年度：今井貴志・近藤祐輔

※授業実施時間は学級担任または学校にお問い合わせください。「一斉公開授業」の時間割は前日に配布いたします。

お詫びと訂正

『飛躍』10月号9頁「高校2学年だより」の小泉陽君の作文において、出身中学校名が間違っておりました。正しくは「東海大学付属高輪台高等学校中等部出身」です。お詫びして訂正いたします。

行事予定

November 11月

- 1日(金) 東海大学建学71周年記念日 休業日
- 2日(土) 数学検定
- 3日(日) **文化の日**
- 4日(月) **振替休日**
- 5日(火) **建学記念式典** 朝礼[正制服着用] 1限カット45分短縮授業
- 7日(木) 学年集会(中3・高3)
- 8日(金) 後援会湘南校舎見学研修会
- 9日(土) スポーツ大会(高3:アリーナ)
- 10日(日) **中等部受験生・保護者学校説明見学会(4回目)**
- 14日(木) 学園高大連携総合試験(高3) 基礎力判定テスト(高1・高2)1回目
外部実力試験(中等部)
- 16日(土) **高校受験生・保護者学校説明見学会(4回目)**
- 19日(火) 校医相談日
- 20日(水) 一斉公開授業(2回目) 専門医によるカウンセリング
- 21日(木) 一斉公開授業(2回目) 中等部合唱祭(1・2限)
- 23日(土) **勤労感謝の日**
- 28日(木) 生徒による授業評価アンケート(3回目)
- 30日(土) 後援会委員総会

December 12月

- 3日(火) **卒業試験(高3~12/6)**
後期中間試験(中等部~12/4、高校~12/6)
- 5日(木) 中等部スポーツ大会(午前:アリーナ) 午後授業
- 6日(金) 中等部校外活動(中1:落語・中2:科学技術館・中3:文楽)
- 7日(土) 中等部3年保護者会
- 8日(日) **高校受験生・保護者学校説明見学会(5回目)**
- 9日(月) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
答案返却日(高3)
- 10日(火) 特別講座開始(高3~1/31)
校医相談日
- 12日(木) 中等部三者面談開始(~12/24)
- 17日(火) **振替休日(12/15分)**
- 23日(月) **天皇誕生日**
- 24日(火) 午前中授業
冬期休暇前諸注意・大掃除
- 25日(水) 冬期講習(~27日)

建学祭準備



編集後記

今日11月1日、東海大学は71回目の建学記念日を迎えた。学園の各教育機関ではこの日を中心として記念式典が挙行される。なかでも、開校50周年を迎えた付属の相模高校、第三高校、望星高校、それに東海大学の湘南校舎においては、それぞれが伝統を築き上げてきた歴史を振り返ると同時に、次の節目に向けての新たな決意を込めた式典となっているに違いない。本校の場合、校名に「付属」が付くようになってからは23年余りであるが、開校からの歴史は長く、まもなく70年を迎えることになる。(き)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>